

麻しん（はしか）患者の発生について

市原市在住の 20 代の男性が、令和 8 年 3 月 30 日に麻しんと診断され、市原市内の医療機関から市原保健所に麻しんの発生の届出がありました。また、成田市在住の 20 代の男性が、令和 8 年 3 月 31 日に麻しんと診断され、成田市内の医療機関から印旛保健所に麻しんの発生の届出がありました。当該患者の疫学調査を行った結果、他の人に麻しんを感染させてしまう可能性がある期間（感染可能期間）に、不特定多数の方が利用する施設や公共交通機関等を利用していたことが判明しましたので、お知らせします。

1 感染可能期間中に患者が利用した施設や交通機関等について

患者 1：感染可能期間（発症日前日の 3 月 25 日以降）に患者が利用した交通機関等

利用日時	利用した交通機関
3月25日（水） ① 午前 5 時 31 分～午前 7 時 20 分頃	① りんかい線・JR 京葉線・JR 内房線： 東雲-新木場-蘇我-五井
3月26日（木） ① 午後 0 時 3 分～午後 1 時 5 分頃 ② 午後 1 1 時 15 分～翌午前 0 時 30 分頃	① JR 内房線・JR 京葉線・りんかい線： 五井-蘇我-新木場-東雲 ② りんかい線・JR 京葉線・JR 内房線： 東雲-新木場-蘇我-五井

患者 2：感染可能期間（発症日前日の 3 月 24 日以降）に患者が利用した施設等

利用日時	利用した施設等
3月24日（火） ① 午後 9 時頃～午後 1 0 時 30 分頃 ② 午後 1 0 時 30 分頃～翌午前 1 時頃	① 鳥半・魚半 ② 目利きの銀次京成成田駅店

- ・ 各施設等へのお問い合わせは、御遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・ 麻しんウイルスの空気中での生存期間は 2 時間以内とされています。現在、上記の施設等を利用しても感染の恐れはありません。
- ・ 接触者が特定できておらず、不特定多数の接触者がいる可能性がある施設等については、広く情報提供するため、施設名や公共交通機関を公表しています。

2 患者の概要

患者1

- (1) 基本情報：20代・男性、市原市在住、麻しん予防接種歴：2回
- (2) 麻しん患者との接触及び海外渡航歴：なし
- (3) 症状：発熱、倦怠感、鼻汁、発疹、咽頭痛、頭痛
- (4) 経過等

日付	患者発生の経過等
3月26日	発症（発熱、倦怠感）
3月27日	市原市内の医療機関 A 受診
3月30日	市原市内の医療機関 B を紹介受診 医療機関 B が発生届を提出 医療機関 B で検体（尿、咽頭ぬぐい液、血液）採取 県衛生研究所の遺伝子検査の結果、陽性

- ※ 行動歴調査等から、特定された接触者については個別に対応を行っています。
- ※ 当該患者は、快方に向かっています。

患者2

- (1) 基本情報：20代・男性、成田市在住、麻しん予防接種歴：なし
- (2) 麻しん患者との接触及び海外渡航歴：なし
- (3) 症状：発熱、倦怠感、咳、鼻汁、結膜充血、コプリック斑、発疹
- (4) 経過等

日付	患者発生の経過等
3月25日	発症（発熱、倦怠感）
3月28日	成田市内の医療機関 C 受診
3月31日	成田市内の医療機関 C 再受診 麻しんを疑い同医療機関で検体（尿、咽頭ぬぐい液、血液）採取 県衛生研究所の遺伝子検査の結果、陽性 医療機関 C が発生届を提出

- ※ 行動歴調査等から、特定された接触者については個別に対応を行っています。
- ※ 当該患者は、快方に向かっています。

県民の皆様へ

- ・ 麻しんの感染力は非常に強く、感染した場合、更に多くの感染者が発生するなど社会的影響が大きい感染症です。
- ・ 同じ時間帯に利用された方で、利用後 21 日以内（特に 10 日前後）に発熱や発しん等、麻しんを疑うような症状が現れた場合は、事前に最寄りの保健所に電話連絡し、指示に従い、医療機関を受診してください。
- ・ 受診の際は、周囲への感染を広げないよう、公共交通機関等の利用を避けるようにしてください。
- ・ 海外では、東南アジア、中東、アメリカ、アフリカ等の地域で麻しんが流行しています。事前に渡航先での流行状況や感染症情報をよく確認してください。海外旅行等で流行地へ渡航される場合は、ご自身の過去の罹患歴や予防接種歴を確認していただき、必要な検査や事前に予防接種を受けていただくことをご検討ください。また、海外への渡航がない場合でも、麻しんの定期予防接種（第 1 期：1 歳児、第 2 期：小学校就学前の 1 年間）をまだ受けていない方は、早めに予防接種を受けましょう。

■ 医療機関の皆様へ

- ・ 麻しんの感染者が県内や全国で多数報告されています。 麻しんを疑う患者が受診した場合は、予防接種歴の確認や院内感染対策の実施など、麻しんを意識した診療を行うとともに、届出に必要な要件を満たすと診断した場合は、速やかに最寄りの保健所に届出をお願いします。

(参考)

- ・ 厚生労働省 麻しんについて
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekka-aku-kansenshou/measles/index.html
- ・ 厚生労働省検疫所（FORTH） 海外渡航者向け情報
<https://www.forth.go.jp/travel/index.html>
- ・ 政府広報オンライン 海外旅行を安全・健康に楽しむために必要な準備と知識
<https://www.gov-online.go.jp/article/202412/entry-6907.html>
- ・ 国立健康危機管理研究機構 麻疹 発生動向調査
<https://id-info.jihns.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/index.html>
- ・ 千葉県 麻しん（はしか）にご注意!
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/mashin.html>
- ・ 千葉県感染症情報センターホームページ
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/>

【参考】

麻疹（はしか）について

1 症状

- ・ 感染すると通常 10 日から 12 日後に 38℃前後の発熱、咳、鼻汁、くしゃみ、結膜充血などが約 2 日から 4 日間続き、解熱後、再び 39℃以上の高熱と発しんが出現します。
- ・ 肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者 1,000 人に 1 人の割合で脳炎が発症すると言われており、死亡する割合も、先進国であっても 1,000 人に 1 人と言われています。

2 感染経路

- ・ 麻疹は麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。
- ・ 麻疹ウイルスの主たる感染経路は空気感染で、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症すると言われています。
- ・ また、発症した人が周囲に感染させる期間（感染可能期間）は、症状が出現する 1 日前から解熱後 3 日間まで（全経過を通じて発熱がみられなかった場合、発しん出現後 5 日間まで）といわれています。

3 潜伏期間

約 10 日～12 日間（最長 21 日間程度になる場合もあります。）

4 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行う

5 予防

- ・ 麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。
- ・ 麻疹の予防には予防接種が最も有効です。2 回の定期接種を必ず受けましょう。
- ・ 麻疹を発症した場合、学校や職場等で感染を拡大させる恐れがあるため、母子手帳などで予防接種歴を確認し、定期予防接種を 2 回受けていない方や予防接種歴が不明な方は、かかりつけ医などに相談の上、接種を検討しましょう。

6 県内の発生状況（麻疹届出数）

年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
千葉県	3	26	26	0	0	0	1	1	22	20*
全国	186	279	744	10	6	6	28	45	265	152*

*千葉県の 2026 年は 4 月 1 日までの届出数

*全国の 2026 年は国の感染症発生動向調査第 12 週（3 月 16 日～3 月 22 日）までの速報値